



理容 やまがた

第345号

発行所

山形県理容業環境衛生同業組合

〒990 山形市清住町3-2-65 電話(0236)45-3525

発行者 梅津 鶴彦 編集者 志鎌 伝郎

購読料 1部10円 毎月1回発行

組合員の購読料は賦課金の中に含まれて居ります

平成七年新年懇談会

並びに各種表彰受賞者祝賀会開催



山形県理容業環境衛生同業組合

新春の快晴に恵まれた平成七年一月九日(月)山形グランドホテルに於いて午前十一時より組合役員、関係業者、学校関係等、各種表彰受賞者祝賀会と銘打って親しく懇談会が開催されました。司会是小松総務部長が当たり小川宏一副理事長が開会を宣言され大津事務局長より各種表彰受賞者紹介披露されました。受賞者を代表しまして松田強三副理事長が謝辞をのべられました。梅津鶴彦理事長の新年の挨拶、「新年明けましておめでとうございませう。新年で何かとお忙しい中多数の方々のご出席を頂き誠に有難うございます。私も昨年五月の総代会で理事長の任を仰せつからせて早八ヶ月、組合員や組合役員の方々の協力によって諸事業も滞りなく推進しております。関係各位に対して深く感謝申し上げます。国も戦後五十年の節目を迎え何かと社会機構が改革や構造の変革が起ころうと見えます。ここで、まもなく全連連より発表されるであろう二十一世紀ビジョンその大綱を良く見てその結果を模索しながら

組合員と共に豊かな業界を建設したいと考えております。今年は東北理容競技大会が山形県で開催です。組合員一丸となって成功させようではありませんか。正月三日テレビユー山形の番組を拝見、「我が郷土は誇りなり」高橋山形県知事と渡部昇一(上智大学教授)の新春対談を語られた。ローマは一日にしてならずの言葉を引用、その内容を説明し、「ローマ市民は自分達の住むローマを熱烈に愛し続けたからこそ今日のローマがあるのだと説いた。我々も理容の業を熱烈に愛し続けてこそ真の理容業の未来が開けるであろう」と結ばれた最後に身内だけの新年会であり心ゆくまで懇談ください。本日是有難うございました。来賓祝辞、山形県環境衛生営業指導センター理事長鈴木敏九郎様代理戸文雄様、続きまして山形高等理容学校校長川口弥一郎様より祝いの挨拶を頂戴し、つづいて、各来賓の方々を紹介し、祝電を披露されました。祝電の開始は謡曲(四海波々)渡辺春雄様(庄内中央支部)、乾杯のご発声は東北タカラベールモント山形営業所長服部文一様から頂き、懇親会が始まりました。各テーブルを回りながら新年のあいさつを交わす人、カラオケで自慢の歌を披露する人として最高に盛り上がり、最後に本間順市副理事長の音頭で万歳三唱で今後の組合運営の益々の発展を祈念し、盛会裡に終了した。

文化広報部委員 三沢 繁男



◀右から鈴木直信、石沢敏雄、志鎌伝郎
庄司光夫、田村与吉、松田強三

来賓紹介

山形県環境衛生営業指導センター事務局長 大戸 文雄様

山形高等理容学校校長 川口弥一郎様

山形職業能力開発専門校副校長 鈴木 芳寛様

山形県美容環境衛生同業組合理事長 斎藤 隆様

東北タカラベールモント山形営業所長 服部 文一様



新年懇談会並
各種表彰受賞者祝賀会

有海理美容器具店理容本部長 水戸 義夫様

高橋理美容器具店社長 高橋 修様

山形県理容環境衛生同業組合顧問 嵐田 鶴男様

顧問税理士 奥山 亨様
前事務局長 高橋 忠雄様

二月行事予定



2(木) 第8回全連連理事会

6(月) 常任理事会 10時30分

8(水) 9(木) 東北理容協議会理事
長会議 於、青森市

13(月) 第6回理事会 10時30分
理容会館

大学科

19(日) 青年部、女性部主催「リー
ダー研修会」 於、天童滝
の湯ホテル 13時

20(月) 第2回教育部長会議
理容会館 10時30分

27(月) 経理部長会議
理容会館 10時30分

三月行事予定



6(月) 常任理事会

9(木) 10(金) 全連連理事会、評議
員会

13(月) 大学科 理容会館
27(月) 第7回理事会(互助会)



支部だより

★上山支部

歴史ある上山支部 設立四十五周年記念式典開催



晩秋の空高く晴れあがり佳き日十一月二十八日、上山理容組合設立四十五周年記念式典（南村山郡理容師会から上山理容師会に名称が変わって）が、上山温泉村尾旅館に於いて上山市長、山形保健所、沼沢、荒井両県議、諸氏の御来賓をお迎えして、開会の辞により盛大に挙行されました。

志鎌支部長の式辞、御来賓、組合の皆様へ感謝の言葉「皆様と喜びを共に分かち合い、今日の支部組織に育てあげて下さった先輩各位の限りの情熱とたゆまぬ努力に對して敬意を表すと共に、深く感謝を申し上げる次第です。設立当初の支部規約には、営業上に関する法令を遵守し、公衆衛生道徳を重んじ、悪弊を矯正し、各自の品性を保持し、親睦を旨とし、この業の改善を図るを目的とする、とあり、支部員一人ひとりの英知と協力、強い団結力で征服して参つたからこそ、支部の今日があると存じます。組合発展の為一人ひとりが協力し合い、全支部員の豊かな明日を目指して、皆様と共に最善の努力を続けて参りたい」と述べられました。

文化広報高橋より「上山理容組合四十五年のあゆみ」を四十五年間の議事録から抜粋し述べさせて戴き、上山理容組合の歴史の重みを強く感じ、先人の偉大さを痛感されました。歴代支部長、福祉事業、また組合に貢献された七名の方に、表彰状及び感謝状の贈呈が行われ、名誉を賞賛し、皆さんが大拍手を贈りました。

御来賓の方々の心温まる御祝辞を賜り、受賞代表坪倉進氏より受賞の御礼と、今後増々の組合発展を祈るとの謝辞を戴き閉会。会場をコンベンションホールに移し、祝賀懇親会が開催、支部長挨拶の後兼ねてより募集していた支部機関誌新題名発表を広報部より行い、「上山支部だより」から「理容かみのやま」に決定し、応募された四名の方に、支部長より記念品が贈呈されました。

桜田美紀子氏の素晴らしい祝舞が披露され、喝采を浴びました。富士繁氏の乾杯にて祝宴に入り、次々にプロ顔負けのカラオケが披露され、来賓の方々も飛び入りされて、宴も酣、賑々しい中、井上忠次郎氏の万歳三唱により閉会。御来賓会なされた御来賓組合員の皆様に、輝かしい四十五周年記念式典に華を添えて戴きまして、執行部一同、心より感謝申し上げます。

★庄内中央支部

一句うたい、心静かな一時を 十二月の師走、第一月曜日

庄内中央支部女性部では、今年度最後の事業として俳句・俳画に挑戦してみました。

幸いにして藤島には全国俳句協会でも名の知られている名譽ある太田権六氏が在任しております。

今回、私達に挑戦できるチャンスができた事も、太田氏の存在ではないかと思ひます。

最初、俳句は年老いてからの、道楽な文芸のひとつだと思つていた私ですが……正直言つて会員の皆さんに喜んでもらえるか、心配・不安でした。

しかし当日は、俳句・俳画に絶好の日になりました。

初雪が降り、会場の藤島添川付近の山々が、その日は白ぼかしの色合いの景色が本当に美しい輝いていました。肌寒さを忘れさせるような、まるで私達の為今日の景色ができたがうたような気がいたしました。

午前中は俳句で大切な季節の言葉、季節語を教えられ、季節は日常私達があいさつを交わす言葉である、だから俳句はあいさつを交わす言葉を、上五・中七・下五の数の並べるものであると……。普段、美的感覚を養える仕事をしている私達には、今日の俳句・俳画の挑戦はもってこいの芸術だと思ひました。

忙しい、せわしい普段の時間を忘れさせてくれる、心なごむひと時、そして会員の個々に持つてい



一世紀の理容店作りとその経営」講師東北タカラベルモント、佐藤仁氏、片桐一男氏により行われました。記念式典の感懐を胸に、お祝いの花を手に、帰宅の途に着かれたと思ひます。

広報部 高橋みよ子

★寒河江・西村山支部

クリスマスダンスパーティー

第十四回クリスマスダンスパーティーが十二月十二日、寒河江平安閣でひと足先に華麗に行われました。この日は天気は良いものの肌寒く、定刻より少し遅れてスタートしました。

牧野司会進行から始まり、主催側の女性部長及び松田支部長、来賓の方から祝辞を賜り、支部の団結と繁栄をスローガンに幕が切つて落とされました。

テーブルには豪華なごちそうが振る舞われ、音楽が流れるとともに華麗なステップに乗ってジルバ、ルンバ、チャチャチャ、ワルツ、ブルース、ディスコなど会場は盛大に盛り上がり時間を忘れさせる一時を過ごしました。

また、ビール早飲み競争及びビンゴゲーム等のゲームを行い、ひと足先にクリスマスプレゼントをもらい、尚一層の喜びと盛り上がり、景気の悪さを感じさせない笑い声が会場内に響き渡りました。刻一刻と時間が押し迫り、暑い熱気の余韻が残る雰囲気の中で青年部長の挨拶で幕が下ろされました。尚組合員の皆様方には多大なるご協力をいただき、誠に厚くお礼を申し上げますとともに一層の飛躍を期待いたします。

寒河江青年部 庄司 俊也



十二月分弔慰金受給者



山形支部 後藤美佐江（母なみ）
平成六年十一月二十一日死亡 七十一歳

東村山支部 佐藤よしゑ
平成六年十二月九日死亡 七十三歳

最上支部 柴田カツ子（孫真吾）
平成六年十一月九日死亡 三歳

最上支部 三上 博
平成六年十二月三日死亡 八十二歳



女性部 富樫みち子

団体生命共済制度の一部改訂

(平成7年7月1日施行)

項 目	現 行	改 訂
① グループ区分	Aグループ (14.6歳～36歳)	A1グループ (14.6歳～26歳) A2グループ (26歳1日～36歳) B～Gグループについては現行どおり
② 掛 金	Aグループ (14.6歳～36歳) 300円 Bグループ (36歳1日～51歳) 650円	A1グループ (14.6歳～26歳) 400円 A2グループ (26歳1日～36歳) 500円 Bグループ (36歳1日～51歳) 600円 C～Gグループについては現行どおり
③ 特別給付金	① 第一子誕生祝金 1口当たり2万円 ② 子女誕生祝金 1口当たり1万円 ③ 人間ドック補助金 年1回、2万円限度 (小型・大型)	① 「誕生祝金」1口当たり1万円 ② 「誕生祝金」1口当たり1万円 (名称を「誕生祝金」とする) ③ 人間ドック補助金 年1回、1万円限度 他の特別給付金については現行どおり
④ 特別給付金の請求資格	事由発生日が加入後または増口後、1年以上経過していること (ただし、遺族見舞金、手指障害給付金については、加入後1年未満であっても支払対象となる)	事由発生日が加入後または増口後、2年以上経過していること (ただし、遺族見舞金、手指障害給付金については、加入後2年未満であっても支払対象となる)
⑤ 大型制度	Eグループ 掛金 月額10万円 Fグループ 掛金 月額12万円	E・Fグループを廃止する

改訂日 平成7年7月1日 (掛金は7月分より適用する)

既加入分の給付に関する経過措置 平成7年7月1日より2年間とする。(したがって、平成7年6月1日加入までの既加入分についての特別給付金支払いは、その事由発生が平成9年6月末日までのものについては、改訂前の基準に基づいて支払いをする)

平成六年度

第2回理容師実地試験合格者

06100001	石井 照久	06100009	遠田 明美
06100003	佐藤香桜理	06100010	吉田 恵美
06100004	宮田 淳	06100011	鈴木めぐみ
06100005	新関 弘二	06100012	佐藤富士子
06100006	浅岡すみえ	06100015	志田まり子
06100007	新美和香子	06100016	赤部 政義
06100008	星川 美恵	06100018	福士 裕之

理容技術
平成七年度 国家試験実技講習の案内

山形県立山形職業能力開発専門学校

基本整髪法

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。
貴方にはインターンとして一年間、それぞれ国家試験に向け技術の向上に精進してきたことと思います。
さて、平成七年度より理容師の国家試験も全国統一で実施されます。従来の方法と大きく変更が予想されます。
つきましては、理容師の国家試験の合格を目指し、その事前講習会を下記により開催することになりました。皆様の受講を期待しています。

記

- 一、コース名 技能向上コース・理容科「基本整髪」
- 二、内 容 国家試験に必要な実技
- 三、期 日 平成七年三月二十日(月)・二十七日(月)の二日間
午前九時〇〇分～午後四時〇〇分
- 四、時 間 午前九時〇〇分～午後四時〇〇分
- 五、場 所 山形県立山形職業能力開発専門学校
山形市大字沼木字南河原一八〇 理容科実習室
- 六、対 象 者 理容業に従事している方
- 七、費 用 受講料三、五〇〇円
- 八、募集定員 二〇名(定員になり次第締め切ります)
- 九、申込締切 平成七年二月二十八日(火)
- 十、申 込 先 山形県立山形職業能力開発専門学校成人訓練係
〒九九〇 山形市大字沼木字南河原一八〇
TEL(〇二二六)四四一九二二七
FAX(〇二二六)四四一六八五〇
- 十一、持ち物 筆記用具・ウィッグ・カッティング用具一式
シェービング用具一式

※申込方法等詳細については、右記山形職業能力開発専門学校にご照会ください。

床屋発祥の由来

一、いつごろ

鎌倉時代の後半、龜山天皇の御代(一二五九～一二七三)。

二、だれが

京都御所の守護職従五位下北小路藤原基晴と三男采女之亮。

三、なぜ

御所の宝刀の紛失事件の責任をとり落人となり、宝刀探索のため下関に下った。

豪商宅で新羅人から髪結の技術を学び、髪結所を開き生計を立て探索を続けた。

店の床の間には龜山天皇と藤原家を祭る祭壇があったので、下関の人々は、いつとはなしに「床の間のある店」→「床場」→「床屋」という屋号で呼ぶようになった。

床屋という言葉は下関で生まれ、下関が床屋の発祥地となった。

四、どこで

昔の海陸交通の起点、下関市中之町龜山八幡宮付近。

五、その後

父基晴は弘安元年(一二七八)八月十六日亡くなり、市内専念寺に葬った。

采女之亮は床屋を続け、遂に宝刀を捜し出し朝廷に奉還した。その後鎌倉に移り住み、鎌倉幕府の庇護を受け大々的に髪結の業を営み、子孫は代々髪結職を受け継ぎ、江戸時代になると將軍のお供衆にも加えられ、また幕府より八百八町の営業権も与えられ、江戸時代の風俗文化の発展に貢献した。

髪結職分由緒書より撰文
小野 孝策



標準営業約款再登録支部別件数

(平成7年2月1日登録)

理容業環同組合支部別

支部名	再新件数	新規加入数	合 計
山 形	124	1	125
上 山	75		75
東 村 山	28		28
天 童	99		99
寒 河 江	142	1	143
北 村 山	132	2	134
最 上	73	1	74
米 沢	59		59
南 陽	33	1	34
長 井	62	1	63
酒 田	72		72
飽 海	125	1	126
庄内中央	89		89
鶴 岡	108	1	109
計	1,221	9	1,230

第345号

発行所

山形県理容業環境衛生同業組合

〒990 山形市清住町3-2-65 電話(0236)45-3525

発行者 梅津 鶴彦 編集者 志鏝 伝郎

購読料 1部10円 毎月1回発行

組合員の購読料は賦課金の中に含まれて居ります

平成七年新年懇談会

並びに各種表彰受賞者祝賀会開催



新春の快晴に恵まれた平成七年一月九日(月)山形グランドホテルに於いて午前十一時より組合役員の皆さんと各種環境団体、関係業者、学校関係等、各種表彰受賞者祝賀会と銘打って親しく懇談会が開催されました。司会是小松総務部長が当たり小川宏一副理事長が開会を宣言され大津事務局長より各種表彰受賞者紹介披露されました。受賞者を代表しまして松田強三副理事長が謝辞をのべられました。梅津鶴彦理事長の新年の挨拶「新年明けましておめでとうございます。新年で何かとお忙しい中多数の方々のご出席を頂き誠に有難うございます。私も昨年五月の総代会で理事長の任を仰せつかって早八ヶ月、組合員や組合役員の方々のご協力によって諸事業も滞りなく推進しております。関係各位に対して深く感謝申し上げます。国も戦後五十年の節目を迎え何とかと社会機構が改革や構造の变革が起ころっております。ここで、まもなく全理連より発表されるであろう二十一世紀ビジョンその大綱を良く見てその結果を模索しながら

文化広報部委員 三沢 繁男



◀右から鈴木直信、石沢敏雄、志鎌伝郎
庄司光夫、田村与吉、松田強三

二月行事予定

大学科

第2回教育部長會議

10時30分

經理部長會議

三月行事予定

0
(月)
常任理事会

全理連理事会、評議

員△五

工
(月
大
字
科
理
客
公
館

國共合作

